

ウォルター・コルトン中学校

JAPN320s

ジョーディン・マートウ

ローレン・トレス

ヤマダ・チェルシー

加藤真那

私たちのレッスン

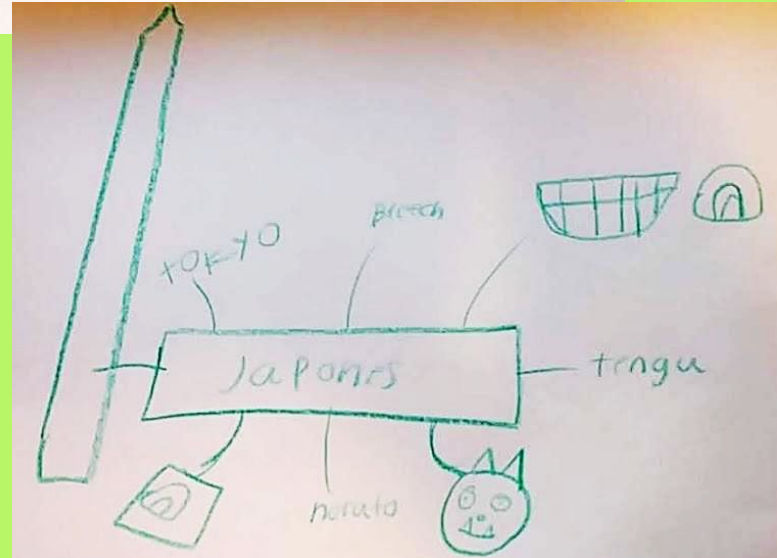
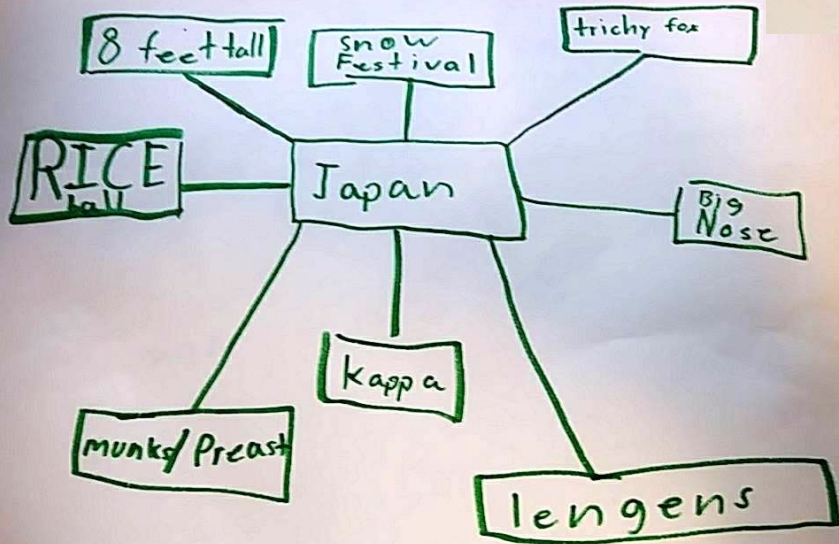
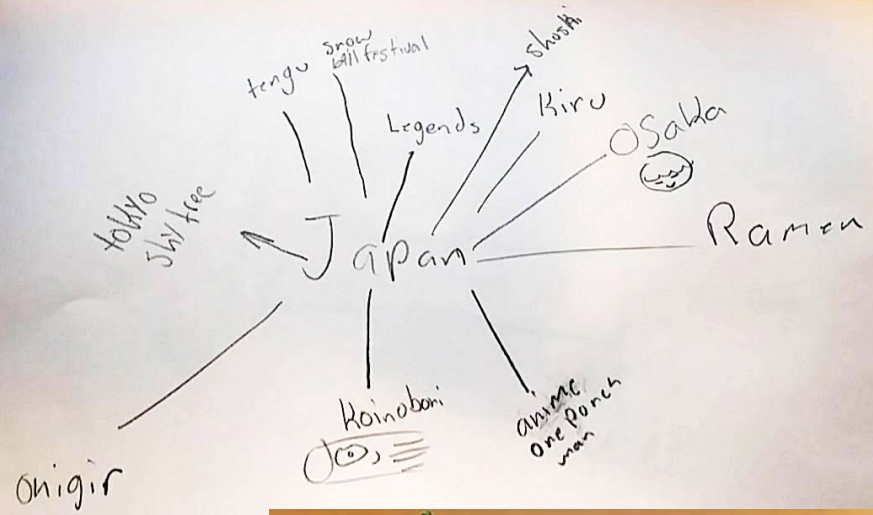
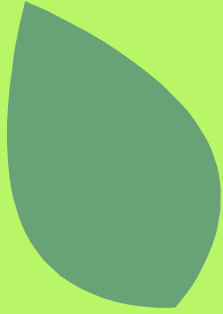
レッスンプラン

アクティビティの時間

マッチングゲームが大ヒット

楽しさ重視







レッスン

“ 私は生徒たちのマインドマップで、都市をよく覚えていることがわかりました。これはその授業のためにさまざまなアクティビティをしました。例えば、人気なマッチングゲームをしました



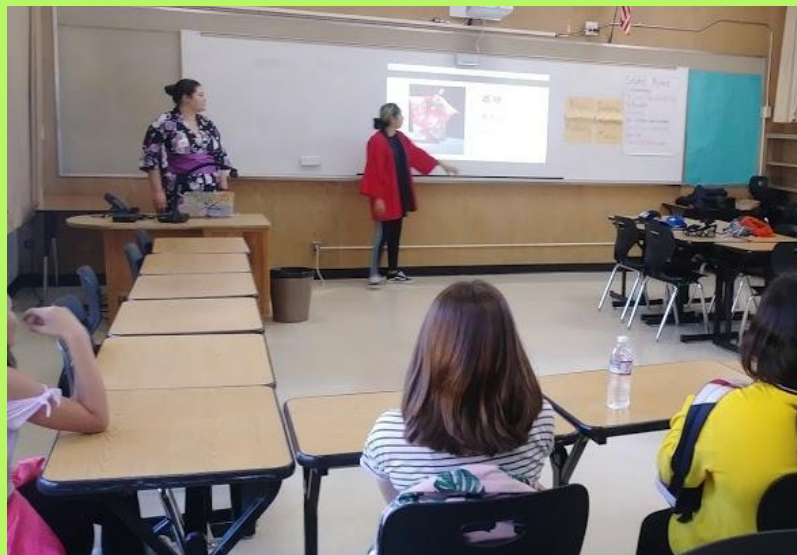
レッスン

“私は生徒のマインドマップで、妖怪とその特徴を覚えていることに気付きました。例えば、カッパがキュウリが好きなように、天狗には長い鼻があります。”

アウトカム1

Jordyn: ステレオタイプの反映

私は、これらのステレオタイプが正しくないことを知るようになりました。



Lauren: 生徒たちの世界について学んで私のに比べた

たとえ学生とは異なるバックグラウンドを持っていたとしても、日本語と文化を学びたいという想いを結びつけることができます。大きな違いの1つは年齢であるため、私の中学校での教え方とはと私たちが生徒に教える教え方とは大きく異なります。



アウトカム 1.2

Brooke: 忍耐強く落ち着いて

サービラーニングは、ステレオタイプを取り除くために、怒りではなく、生徒を教育するために事実を使わなければならないことを教えてくれました。また、これらのステレオタイプが学生に間違っている理由を説明するとき、私は忍耐強く落ち着かなければならないことも学びました。

Chelsea: アジア系アメリカ人の「モデルマイノリティ」ステレオタイプ

Mana: 母国を客観的に捉えられた





アウトカム2

Jordyn: 社会の幸福

Lauren: 先生の社会的責任と態度

Brooke: 安全で平等な環境

Chelsea: 一人一人にちゃんと集中するし聞くこと

Mana: 教育者として、日本人としての責任感



アウトカム 3

Jordyn:CPYプログラムの目的

Lauren:日本の正しい情報を提供する

Brooke:学生の視野を広げる

Chelsea:両親の状況

Mana:教育の平等性(家庭環境など)

アウトカム 4



Jordyn: コミュニティスキャン

Lauren: コミュニティにより多く参加する

Brooke: 他の人が成長し続けるのを助けるために

Chelsea: 一貫性が必要

Mana: アメリカ人と日本文化を教えたこと

学んだこと

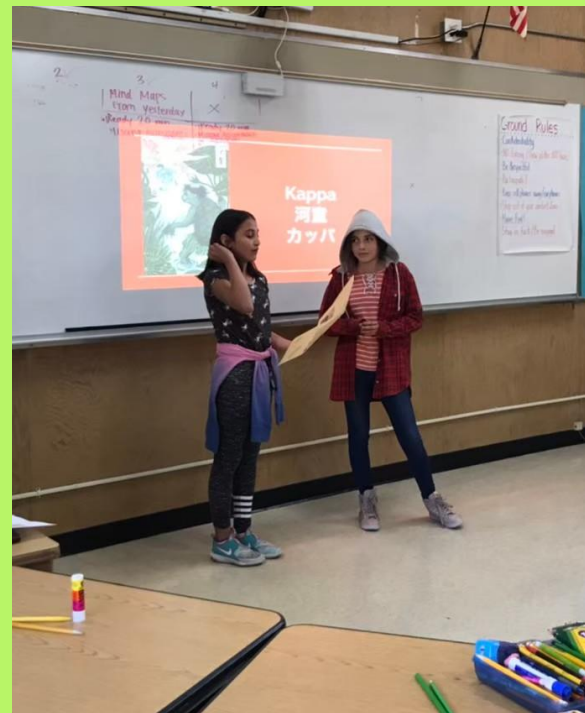
Jordyn: 日本語と文化に興味を持っていること

Lauren: 大変多くの日本の文化を学んだ

Brooke: 日本への愛

Chelsea: 思ったより好きだった

Mana: ステレオタイプの不一致



アクションピース

Jordyn: CPYプログラムを続けたい

Lauren: この地域の仏教寺院に引き続き関わりたい

Brooke: 他の人に日本語を教え続けたい

Chelsea: 日本語授業に行くつもり

Mana: 日本人として日本文化をより理解し、広げていきたい



The background features several stylized green leaves of various sizes and shades, along with light gray circles. The leaves are positioned on the left side of the frame, while the circles are scattered across the background.

ありがとうございました